

月刊オリーブライフ 別冊 Teaching Letter

聖書通読

真理を燃え立たせ、世界を変える



2019年、ぜひ一緒に聖書通読をしてみませんか。

www.bfpj.org/bible/ で登録を受付中です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

はじめに

クリスチャンなら誰でも、聖書を読むことの重要性をよく理解しています。新年には、今年こそ通読を成し遂げようと、目標設定する人も多いのではないのでしょうか。しかし、日常の忙しさや、難しい箇所に入って読むのがつらくなり、徐々に「読まなければならない」というタスクとなり、ついには読むのが重荷となる……という経験をする方もいると思います。最終的に目標を達することができない自分を責める方もいらっしゃるかもしれません。

楽しいことは強制されなくてもできますし、おいしいものは見ただけでも唾がわいて、「食べたい!」と渴望します。同じことが聖書のみことばに起こったら、どんなに素晴らしいことでしょう。聖書はあるラインを越えた時に、驚くほどぐっと心に入るようになります。もしみことばの楽しさとおいしさを経験することができるなら、もはや聖書通読はタスクではなく、無くてはならない日々の喜びとなります。

2019年、BFPは世界中のBFPファミリーと共に、聖書を通読するというビジョンを頂きました。みことばの真理に出会う喜びをぜひ一緒に経験しませんか。継続のために、私たちは以下のような計画を立てています。

- 世界中のBFPファミリーが互いに祈り、励まし合う
- 通読箇所の配信
- イスラエル現地からのミニ解説映像配信
- 聖書通読日記の配信
- オリーブライフ、ティーチングレターでの学び
- 通読から生み出される証しの共有

WEBサイトからご登録(無料)ください!

www.bfpj.org/bible/

検索



神のみことば

— 貴重な宝

文：レベッカ・J・ブリマー（BFP国際会長）



新婚当時、夫のトムと二人で彼の実家を訪ねた時のことです。私が読んでいた雑誌をリビングに何気なく置くと、祖父の嘆き声が聞こえてきました。見ると、聖書の上に雑誌を置いてしまっていたのです。祖父は聖書の上に何かを置いたり、聖書を床に置いたり、軽々しく取り扱ったりなどしない人でした。みことばに対し、最高の敬意とおそれと愛を持っていたのです。私たちはどれほど神のみことばを愛し、大切にしているでしょうか。

私は子ども時代、家族でディボー

ションをするのが常でした。今日、家族で毎日ディボーションをしているクリスチャンホームはどれくらいあるでしょうか。私はこのティーチングレターを通して、クリスチャンのみことばに対する情熱に火を付けたいと願っています。

まず、神のみことばの働きを考えてみましょう。

神のみことばは…

罪からの守り…「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことを

心にたくわえました。（詩119・11）」

慰めといのち…「これこそ悩みときの私の慰め。まことに、みことばは私を生かします。（詩119・50）」

永遠への悟り…「主よ。あなたのことばは、とこしえから、天において定まっています。（詩119・89）」

養い…「あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう

う。蜜よりも私の口に甘いのです。
(詩119・103)」

指針…「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。
(詩119・105)」

人格形成…「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。(IIテモ3・16〜17)」

完全で、確かで、正しく、純粹で、きよく、真理で公正…「主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、主のあかしは確かで、わきまえない者を賢くする。主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

主への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。主のさばきはまことであり、ことごとく正しい。それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。また、それによって、あなたの上もべは戒めを受ける。それを守れば、報いは大きい。
(詩19・7〜11)」

イスラエルと聖書

イスラエルではどこにおいても聖書は身近です。

- ネタニヤフ首相一家が推進する恒例の聖書クイズ番組があります。目的は、イスラエルの若者(世俗的・宗教的の両方)を聖書研究に導くことです。
- 首相官邸でネタニヤフ首相主催の聖書研究会が定期的に開かれ

ています。

- ユダヤ人が通勤・通学の電車やバスの中で詩篇を読む姿は一般的です。
- 聖書の人物にちなんだ町の通りの名も一般的です。BFPの事務所の周りには、「預言者通り」「イザヤ通り」「イスラエルの部族通り」「預言者デボラ通り」があり、2、3ブロック先には「シオン広場」があります。
- 宗教的、世俗的を問わず、公立学校では聖書から地理と歴史を学びます。
- 陸軍は片手に聖書、もう片方の手に銃を持って軍務に就きます。
- イスラエルにはイエシバ(ユダヤ教の神学校)が数多くあります。世俗的な教育を受ける前に、1年間聖書を学ぶユダヤ人も珍しくありません。
- 最近目に付く新しい現象は、聖

Teaching Letter

書研究クラスに参加する「世俗的」な人々が増えていることです。人々は神のみことばに引き付けられています。

●ユダヤ人は幼い時から聖書を愛するように教えられます。3歳の子どもにヘブライ語の文字を習わせる時、文字の上に蜂蜜を塗って甘さも味わわせます。

イスラエルにはシムハット・トーラーという特別な祭日があります。これは「トーラー（モーセ五書）を喜ぶ」という意味で、ユダヤ人はこの日、神のみことばを喜びます。ユダヤ人にとって大切なトーラーの巻物は、^{せいひつ}聖櫃（どのシナゴーク「ユダヤ教の会堂」にもある装飾を施した箱）から取り出され、人々はそれを担いでシナゴークの周りを歩き、歌い踊って神のみことばを大いに喜ぶのです。トーラーの甘さを教えるた

め、子どもたちにキャンディーを配るのがこの祭りの特色でもありません。

聖書の巻物は敬意を持って扱われます。安息日（シャバット）に巻物を読む担当者は、ヤド（ヘブライ語で「手」の意）と呼ばれるポインターを使って読んでいる箇所を指し示します。これは皮膚の油が巻物に付かないようにするためです。読んでいる間、全会衆は敬意を払って立っています。

一つの巻物を書き写すのにほぼ1年掛かるので、トーラーの値段は最低でも5万ドル（500万円以上）と高価です。革製で、羽ペンを使って特別なインクで書き写されます。

イスラエルを訪問した際には、ぜひイスラエル博物館を訪れてみてく

ださい。死海文書やイエスの時代の聖書写本を見ることが出来ます。驚くことに、そこに記されているみことばは、現代のヘブライ語の聖書と事実上全く同じです。

みことばに対する 飢え渴き

BFP（ブリッジス・フォー・ピース）で働くベッカという若い女性は、神のことばに熱心です。彼女は何か月も、神の民がみことばに飢え渴くように祈ってきたそうです。私の祈りも全く同じです。「主よ、私たちにもっとあなたご自身とみことばを知りたいと願う心を与えてください。こうして、あなたの弟子として成長することを願います」

聖書は信者にとって最も貴重な宝だと私は信じています。ですから、

多くのクリスチャンが聖書を定期的かつ体系的に読んでいないことを悲しく思うのです。神を愛する者なら、神のみことばに飢え渴く必要があります。私自身、そのような飢え渴きがほしいですし、指導者を始め神の教会に与えられるよう祈っています。

聖書知識

私が子どものころ、献身的なクリスチャンは週に3回（日曜日の朝と夜、水曜日の夜）、教会へ行っていました。今日では、日曜の朝だけ礼拝に参加するのが一般的です。ある教会は未信者向けのメッセージを20〜30分行い、礼拝を1時間で終えるところもあります。

現在、家庭集会を持つ教会が増えています。その多くは、みことば

を探求し、聖なる命令を学ぶというよりも、結婚や子育て、財産管理といった問題に焦点を当てています。交わりと祈りで終わり、全く学びをしないグループもあります。それも良いかもしれませんが、ではどこで神のみことばを学ぶのでしょうか。

『インフルエンス』という雑誌にこう書かれていました。「アメリカ・バイブル・ソサエティーの最近の調査によると、聖書を読むことを朝の日課にしている人はほんの16%で、その倍以上(37%)がコーヒードーイングを始めると答えました。バルナ・グループの最近の調査結果によると、教会に通う人の半数以上が、大宣教命令など聖書の基本的な優先事項を理解していませんでした。聖書を第一とする生活スタイルが欠如していることが原因かもしれません。聖書に対する無知は、あらゆる

世代に広がっているようです」

読んで黙想する

神はみことばを読んでもほしいと願っておられます。使徒パウロはテモテに対し、「……真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい（IIテモ2・15）」と手紙に書き記しました。

聖書が難しいと思われる方は、聖書を読み始める前に「みことばを通して、主が伝えたいことを理解できる心を与えてください」と短く祈ることをお勧めします。時間がない方は、毎日意識的に祈りと聖書通読の時間をつくる必要があります。

偉大な説教者スボルジョンの言葉

Teaching Letter

です。「社交よりも孤独が勝る時があり、語るよりも沈黙が思慮深い時がある。一人で主を待ち望み、みことばの黙想を通して主に仕える力を頂くなら、より良いクリスチャンになれるはずだ。神について瞑想しなくてはならない。そうすることで本当の養いが与えられる。……多くの説教を聞きながら、進歩の遅いクリスチャンがいるのはなぜだろう。それは個室での祈りをおろそかにし、神のみことばを深く黙想しないからだ」

ムーディは「聖書は、情報を得るためのものではなく、私たちが変革されるために与えられたものだ」と言っています。

イエスは「まことに、あなたがたに告げます。天地が滅びうせない限り、律法（トローラー／命令）の中の一点一画でも決してすたれることは

ありません。全部が成就されます。（マタ5・18）」と言われました。イエスは聖書を多用され、特に申命記から幅広く引用されました。聖書はみことばを黙想するように勧めています。

皆さんは神さまにあって成功したのでしょうか。それなら「この律法の書（トローラー）を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならぬ。そのうちにしるされているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたのことばで繁栄し、また栄えることができるからである。（ヨシ1・8）」

行動計画

信徒たちがみことばを読まないという問題は、クリスチャン指導者た

ちの心に重くのし掛かっています。私は主に、「この世界で聖書知識を向上させるために、BFPに何が出来るでしょうか」と叫び求めました。最初に与えられた考えは、2019年、世界中のBFPスタッフが聖書通読に力を入れるというものです。週ごとの聖句から毎日デイブーションし、主から示されたことを記録します。

皆さんもぜひご参加ください。ウェブサイトで登録した方には、聖書通読表と通読日記を送ります。毎週、新しい解説映像にもアクセスできます。現状を嘆くだけでなく、自分の心、家庭、教会そして地域から世界を変えていきましょう。神のみことばに新たに献身し、御顔を求めて成長していく時、神がしてくださることに興奮を覚えることでしょう。



特定非営利活動法人
B.F.P.Japan (ブリッジス・フォー・ピース)